



学校教育目標 主体的に考えて行動するー自律・創造・尊重ー

加古中 TIMES

笑顔あふれる学校 KAKOGAWA

Knowledge(知識・経験からの情報)
Action(行動・活動)
Kindness(親切・思いやり)
Open-minded(広い心・偏見のなさ)
Growth(成長・発展)
Appreciation(感謝・正しい評価)
Wellness(心身の健康・生活のバランス)
Answer(答えを見出す)

読書のススメ

優れた本は、いつも黙って文句も言わず、本棚の中であなたが手に取って開いてくれるのをじっと待っている…



毎日の授業や部活動、家庭学習や塾、そして友達との付き合いなど、息をつく暇もないほど忙しい日々を過ごしている加古中生のみなさん、最近、教科書以外の本を読みましたか？「本を読んだほうがいい」とは分かっているけど、「そんな時間どこにあるの？」というのが正直な気持ちかもしれません。

しかし、そんな忙しい毎日に追われている中学生だからこそ、実は「読書」が最高の味方になってくれます。忙しい心をリセットし、自分を助けてくれる強力なツールとなる力を秘めています。



最強のストレス解消法になる

ある研究では、わずか6分間の読書で、ストレスの約7割が軽減されると言われています。スマホの画面から少し離れて物語の世界に没頭することは、疲れた脳を休める最高の休息になります。



「タイム・パフォーマンス(タイパ)」が高い

本には、他人が何年もかけて経験したことや、一生懸命考えたアイデアがぎゅっと詰まっています。それを数時間で吸収できる読書は、実は非常に効率の良い自己投資です。



自分の「言葉の武器」が増える

進路選択や日々の作文、友達とのコミュニケーションで「自分の気持ちがうまく伝わらない」と悩むことはありませんか？本を読むことで自然と語彙力が鍛えられ、自分の考えを正確に伝える「言葉の武器」が身につきます。



読み終わると涙がポロポロ…
校長室にも2冊あります。
誰か読んでみませんか？

オススメの「短時間読書術」

①1日10分でも、1週間で70分、1ヶ月で約5時間になります。
これだけで立派に1冊の本を読み切ることができます。

②日常の小さなスキマ時間に本を開いてみては？帰宅後のスキマ時間の例としては、「電子レンジで冷凍食品やレトルトを温めている時間」「お湯が沸くのを待っている時間」「スマホやゲームのアップデート・ダウンロードを待っている時間」等が考えられます。落ち着いて考えてみると、1回につき1分～5分くらいの「何もしない時間」って、1日の中にあるかも…。

③目次を見て「おもしろそう」と思った章だけを読んだり、途中でつまらないと感じたら次の本に変えたりしても全く問題なし。長編小説や難しい専門書を選ぶ必要もなし。自分が少しでも「気になる」と思えるものが正解！アニメやドラマの原作ノベルは、展開を知っていても、活字で読むと登場人物の心の動きがより深く分かっておもしろいですね。ショートショート(超短編小説)は、1話が3分～5分で読めるため、時間がない人にぴったりです。イラストや図解が多い実用書からは勉強のコツや、人間関係の悩みを解決してくれる本など、今すぐ役立つ知恵が手に入ります。

教科書は選ぶことができませんが、読書の本は、あなたが自由に選ぶことができます。手に取った本を開けば、いつでも、どこへでも、どんな時代へでも旅に出ることができます。

ピンとくる1冊との出会いが、あなたの忙しい毎日を少しだけワクワクするものに変えてくれるかもしれません。まずは、学校の図書室や近くの本屋さんに立ち寄って、表紙を眺めてみてください。

蔵書をリニューアル中！